

たばたあずみ



Tell・Fax
550 6674

山根とみえ



Tell・Fax
550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax
558 9721

2014年度

あきる野市予算編成に当たっての要望書を提出しました

来年度の予算編成が始まります。日本共産党あきる野市議団は、みなさんから寄せていただいた声を盛り込んだ予算要望書を作成し、10月28日、市長宛に提出しました。以下、要望書全文です。

はじめに

市民から寄せられたアンケートに、「夕方6時半になってから、1円でも安いおかずを買いに行くようにしている（75歳女性）」、「独り身となり夫の遺族年金で暮らしている、夜遅くまで起きていたが今は電気代が気になり早めに床につく（70歳女性）」、「子育て中ですが、残業がなくなり夫の収入が減り続け、子どもが通っている珠算塾を辞めさせざるを得なかった（40代女性）」など、今まで以上に生活難にかかわる市民の声が多く寄せられました。

そんな中で、来年から消費税が増税されようとしています。小麦・ジャムなどの食料品、ガソリン・灯油が値上げされています。

労働者の平均年収は1997年以降、70万円も減少していると総理府が発表し、働く人の38.2%、2042万人が非正規、その平均年収は168万円だと国税庁が述べています。当市においても、24年度決算で市民の平均所得が一人当たり4万円減と、苦しい状況が続いています。

市民の暮らしを守ることに、健康の保持が地方政治の大きな任務です。新年度の予算編成において、寄せられた市民の声が反映されるよう期待して具体的内容を要請します。



緊急要望

秋川駅自由通路のエレベーター設置計画を速やかに進めてください。

阿伎留医療センターの常勤医師の確保に努め、地域に役立つ病院として充実してください。

一人暮らしの高齢者・高齢者のみの世帯への見守り対策など、一層の充実を図ってください。

「るのバス」を増やして増発・増便し、市民の交通権を守ってください。

国保財政の健全化に取り組み、国保税の引き上げをしないでください。

低所得者世帯への灯油代補助をしてください。

1、医療・介護

国民健康保険税滞納者に対する資格証明書の発行は、今後も行わないでください。

低所得者の介護保険料・利用料を軽減して、必要な人が必要な支援を受けられる体制を整えてください。また、要支援の人を今後も介護保険からはずさないでください。

地域の「いきいき元気づくり事業」など、予防重視型の施策を充実するため、いきいきセンターの冬季営業を再開してください。

病気の早期発見・早期治療の観点からも、市民検診を充実させ、受診率の向上に努めてください。

2、子育て支援

保育園の定員、特に0～2歳枠を増やして、保育の必要な方全員が保育園を利用できるようにしてください。

学童クラブの待機児童解消と時間延長、内容充実をしてください。

保育料の値上げは行わないでください。

無認可・認可を問わず、幼稚園・幼稚園類似施設への補助を増額してください。

子育て世代の定住のために、家賃補助制度を創設してください。



3、障がい者福祉

障害がある市民の就労の場を増やしてください。

虹の家をはじめ、市内障がい者施設に市から法外援助をしてください。

障がいのある児童の、学童クラブの受け入れ年齢を引き上げてください。

4、教育の充実

永田橋周辺の歩道の拡幅など、ひきつづき通学路の安全整備に力を入れ、交通擁護員を増やしてください。

草花公園住宅建設にあたっては、学童の安全に十分な配慮をするよう、工事関係者と協議を進めてください。

標準服・学校給食費をはじめ、修学旅行費・補助教材費など、義務教育の父母負担の軽減に努力してください。

学校の設備・整備をはじめ、各学校の要望書の内容を精査し、早急に予算措置を取るなど、取り組みを進めてください。

裏に続く

就学援助の対象に、眼鏡およびクラブ活動費用を加えてください。

5、市民サービス

五日市地域をはじめ、バスの通行が困難な道の狭い地域の交通不便対策を早急に進めてください。

公民館をはじめ、公共施設の使用料を軽減してください。

カラオケなど、市民の生きがいづくりに役立つ活動をしている団体に助成をしてください。

補助金の内容を精査し、必要な団体へは1割カットを撤廃してください。



6、まちづくり

旧秋川高校跡地および周辺地区の土地利用計画は、福祉・教育ゾーンに戻すことを含め、広く市民の意見を募り、産業系企業誘致の計画を見直してください。

個人住宅の耐震診断と耐震化の補助金を増額してください。また、地元建設業者の仕事を増やす「住宅リフォーム助成制度」の対象を、市内全事業者に広げてください。

五日市線の始発を早め、終電を遅くしてください。立川直通を増やしてください。また、東秋留駅踏切の安全対策を関係機関に働きかけてください。

武蔵引田駅周辺の区画整理事業は、住民の意見をよく聞いて進めてください。下水道計画は、区画整理事業と切り離しても、早期に進めてください。

生活道路の補修、拡幅、排水対策など、引き続き計画を立てて着実に進めてください。

歩行者・自転車優先の道路づくりをすすめてください。

歩道の整備や段差解消など、ユニバーサルデザインのまちを計画的に進めてください。また、信号機やガードレール、カーブミラーなど道路の安全対策に力を入れてください。

ごみの減量・資源化・リサイクルを進め、地球環境にやさしい施策を展開してください。ペットボトルは資源ごみと一緒に回収できるようにしてください。

防災対策として、防災訓練や日ごろの地域のつながり作りへの支援、防災備蓄品の充実、二次避難所の整備などに取り組んでください。



放射能測定については、今後も引き続き定点測定を行ってください。

7、環境・観光について

絶滅危惧種のミゾゴイをはじめ、自然との共生に力を入れてください。

観光や教育などに、五日市憲法草案を生かした取り組みを進めてください。

8、産業振興

農業従事者、とりわけ後継者が誇りを持って働けるよう、積極的な支援をしてください。

秋川ファーマーズセンターの改修を進め、朝市の開催・助成など地産地消の産業振興に力を入れてください。

商店街の活性化のため、きめ細かな施策を展開してください。

9、平和について

「非核平和都市宣言」をしてください。

騒音測定器を設置し、横田基地の米軍機の騒音対策を進めてください。



10、国や都に申し入れを

生活保護 級地への引き上げを、引き続き国に求めてください。

介護保険制度や国民健康保険制度に対する国の補助金の増額を求めてください。

Hibワクチン・小児肺炎球菌ワクチンの全額国庫負担を求めてください。

高齢者の医療費窓口負担を、引き続き1割に据え置くよう国に求めてください。

来年4月からの消費税引き上げは行なわないよう、国に求めてください。

年金の支給額や介護保険制度内容など、社会保障制度の引き下げを行なわないよう、国に求めてください。

12月議会の日程

11月20日(水) 陳情・請願締め切り

28日(木) 本会議

12月3日(火) 一般質問

4日(水) 一般質問

5日(木) 一般質問

10日(火) 総務委員会

11日(水) 環境建設委員会

12日(木) 福祉文教委員会

19日(木) 本会議

市議団までご連絡ください
予約が必要です。
13時30分～15時
11月29日(金)
法律相談